

2020 年度 ユネスコスクール活動報告

(学)市川学園 市川中学校・高等学校

本校 ESD テーマである 1. 国際理解教育 2. 理科教育 3. 環境教育を中心にこの 1 年間の活動を報告する。

1. 国際理解教育

- (1) 海外研修(英語による教養研修)について例年通り計画をしたが、今年度は全て中止。
 - ① 夏 140 名参加予定 内訳 イートン(20 名)／ボストン&ダートマス(20 名)／ケンブリッジ&オックスフォード(60 名)／カナダ(40 名)
春 ニュージーランド(35 名) → 夏、春ともに海外研修中止。ケンブリッジ研修についてはオンライン研修があり、生徒希望者参加。
 - ② 中 3 シンガポール修学旅行中止。
- (2) 国内研修
 - ① エンパワーメントプログラム(UC, Harvard 等の学生による英語教養研修)
開催時期や研修方法をめぐって検討を重ねたが今年度は中止。
 - ② 中 3 英語研修(シンガポール修学旅行の事前研修) 修学旅行の中止に伴い、本研修も中止。
- (3) トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム(文部科学省)
高 1・2 年生約 60 名が応募したが、今年度は中止となった。
- (4) 個人参加の国際研修 今年度も各研修に参加する準備を行ったが、全てが中止。
- (5) 文部科学省 WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業への参画
 - ① SR サミット(11/14~11/15, オンラインで実施。各校のプロジェクトをブラッシュアップ。
高校 1 年生 4 名、高校 2 年生 2 名参加。高校 2 年生の 2 名は英語で参加。
 - ② APU 学生とのオンラインによるディスカッション 生徒 1 名参加
 - ③ ラオス研修 ラオス現地の様子をオンラインで学ぶ研修 生徒 3 名参加
- (6) 国際交流 今年度は実施できず。
- (7) 校内活動
 - ① 生徒有志によるユネスコサークル活動で 9 月に絵本活動(塗り絵による算数教材を作成し、バングラデシュの子どもたちに送る活動)を行った。
 - ② 同サークル活動で 11 月に古本収集校内募金活動を行った。集まったお金はチャリボン(古本を寄付金に変える団体)から世界こども財団を通して、ミャンマーの教育や医療に使われる。
- (8) 校内発表会
海外研修が中止になったので研修についての直接の発表はないが、その他の国際理解活動や SDGs に関わる個人的な発表を 3 月に行われる予定の全学発表会(市川アカデミックデイ)で行う予定である。
- (9) その他、毎年実施している活動
 - ① 留学キャラバン(海外大学進学説明会)を今年度はオンラインで 7 月 5 日に行った。中学校 1 年生から高校 2 年生までの希望者 25 名が参加した。
 - ② JICA 講演会(中学道徳授業で、JICA 海外協力隊員による講演会)今年度は中止。
- (10) ホストファミリー・ネットワーク 留学生受け入れ準備家庭 登録数:85 家庭

2. 理科教育 SSH 指定第 3 期・1 年目の本年度は以下の活動を行った

- (1) 研究開発の課題
自分で自分を教育できる自立した研究者を育成するプログラムの開発
- (2) 研究開発の概要
 - ① 通常授業の改善のために学校設定科目に指定した、探究数学Ⅰ～Ⅲ・AB、探究物理ⅠⅡ、探究化学ⅠⅡ、探究生物ⅠⅡ、プレゼンテーション英語ⅠⅡ、構造読解(現代文)ⅠⅡ、地理 AL について研究を行った。また、すべての教科を対象に教科横断型授業の開発を行った。
 - ② 理科では実験から学ぶ探究的な授業を行った。
 - ③ 中学においては、前認知を高めるための CASE プログラムの部分導入を行った。
 - ④ 課題研究において評価基準を作成し、提示することで生徒のメタ認知を促し、自立的に取り組むことができるよう指導した。
- (3) 海外連携 ②～④は新型コロナウイルス感染防止のため、本年度は中止。
 - ① SSH タイ王国プリンセス・チュラボン・チョンブリ校とオンラインで接続し、科学未来館がモデレーターとなったオンラインワークショップを開催した。
 - ② SSH タイ王国プリンセス・チュラボン・チョンブリ校への生徒派遣。
 - ③ SSH タイ王国プリンセス・チュラボン・チョンブリ校への生徒受入。
 - ④ SSH ドイツ Neues Gymnasium Wilhelmshaven への生徒派遣。

3. 環境教育

- (1) 今年度は新型コロナウイルスの影響で例年のようなフィールドワークは行われなかった。
- (2) 保護者会が制服・学用品などのリサイクル活動を推進。校内でのリユースを促進した。